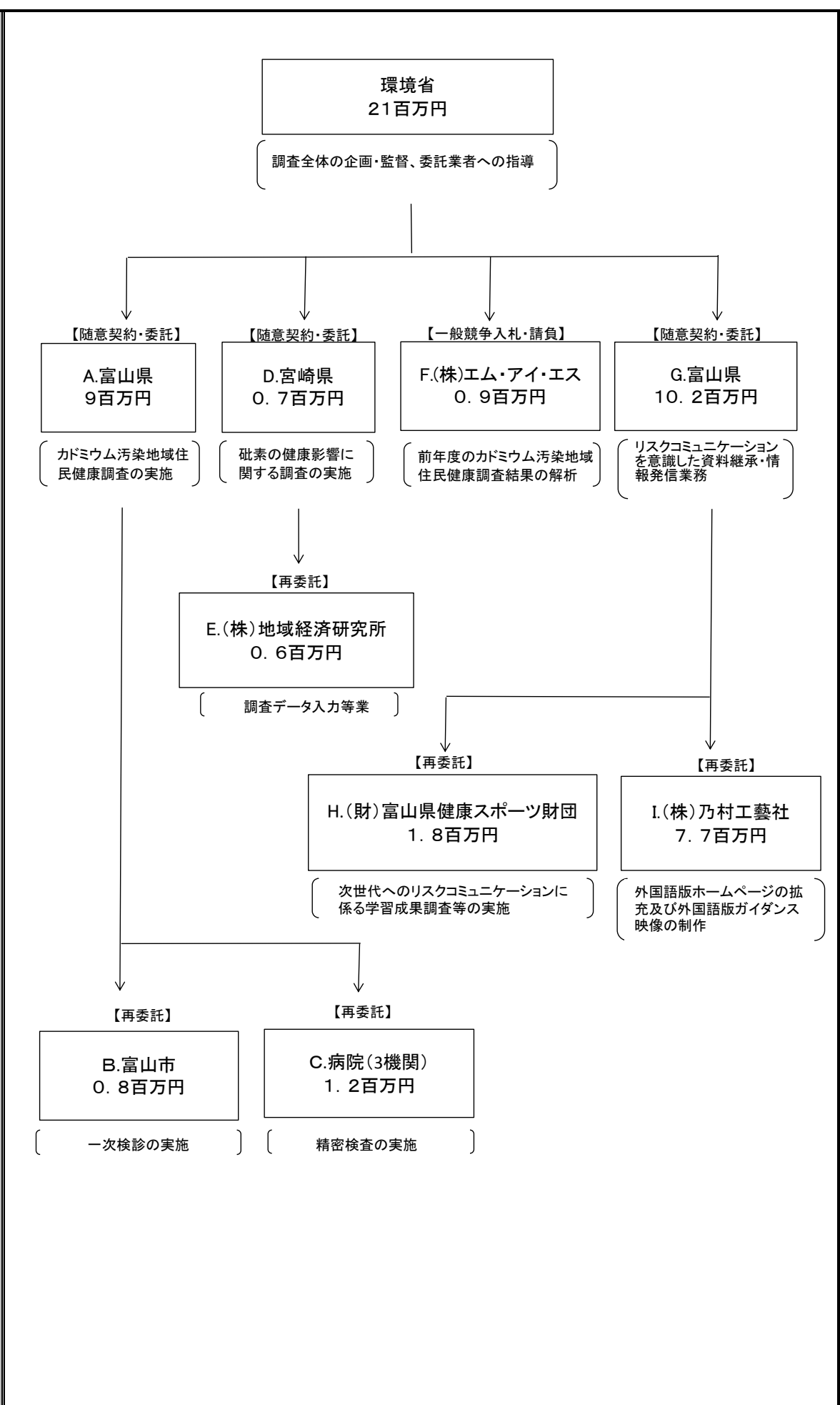


平成25年行政事業レビューシート (環境省)

<b>事業名</b>	イタイタイ病及び慢性砒素中毒発生地域 住民健康影響実態調査費		<b>担当部局庁</b>	環境保健部		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・ 終了(予定)年度</b>	昭和47年度～		<b>担当課室</b>	企画課保健業務室		近藤 恵美子		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>政策・施策名</b>	7 環境保健対策の推進 7-1 公害健康被害対策(補償・予防) 9 環境政策の基盤整備 9-3 環境問題に関する調査・研究・技術開発				
<b>根拠法令 (具体的な 条項も記載)</b>	-		<b>関係する計画、 通知等</b>	-				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)</b>	「公害健康被害の補償等に関する法律」における指定疾病であるイタイタイ病及び慢性砒素中毒は、現在もお新規の患者認定が続いており、またその臨床像についても完全に明らかになっていないといえなため、発生地域における住民の健康状態を把握し適切な対応をとる必要がある。 また、イタイタイ病が二度と繰り返されないよう貴重な資料や教訓を後世に継承するため、被害者、原因企業、行政等が連携し、関係資料の収集、整理、保存を行い、リスクコミュニケーションを意識した効果的な情報発信を実施することで、環境被害を克服してきた歴史を継承していく。							
<b>事業概要 (5行程度以 内。別添可)</b>	イタイタイ病の発生地域である神通川流域で、一定以上のカドミウムの曝露を受けていると考えられる住民を対象に、尿検査、血液検査、レントゲン検査による検診を段階的に実施し、イタイタイ病患者及びカドミウムによる可能性のある健康障害を検出し、必要に応じて保健指導などの対応を行う。また、前年度の検診結果を解析し、健康障害の把握に努める。 イタイタイ病に関する貴重な資料が散逸しないように資料の収集・管理を行い、収集した資料の展示や閲覧等を行うことで資料を有効に活用し、国内外の幅広い世代に対してイタイタイ病の教訓を継承する。 慢性砒素中毒の発生地域である土呂久地区で、一定以上のヒ素の曝露を受けていると考えられる住民を対象に、内科検診、皮膚科検診、耳鼻科検診等を実施し、慢性砒素中毒患者及びヒ素による可能性がある健康障害を検出し、認定申請につなげるなどの対応を行う。							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・ 執行額 (単位:百万円)</b>	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	46	64	39	38	34	
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	0	0	0	0		
	執行額	46	64	39	38	34		
	執行率(%)	15	33	21				
<b>成果目標及び成 果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	本事業は汚染地域住民の健康調査を富山県および宮崎県に委託し、安定的な財政・事業運営に資するものであり、定量的な成果目標を設定し、その達成度を測ることはなじまないとする。		成果実績		-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-
<b>活動指標及び活 動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	本事業は汚染地域住民の健康調査を富山県および宮崎県に委託し、安定的な財政・事業運営に資するものであり、定量的な成果目標を設定し、その達成度を測ることはなじまないとする。		活動実績 (当初見込み)		(-)	(-)	(-)	(-)
<b>単位当たり コスト</b>	-			算出根拠				
平成25・26年度 予算内訳	<b>費目</b>	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	環境保全研究諸謝金	0.1	0.1					
	環境保全研究委員等旅費	0.2	0.2					
	公害調査費	2.0	1.4					
	公害調査等地方公共団体委託費	35.9	32.2					
	計	38.2	33.9					

事業所管部局による点検						
項目			評価	評価に関する説明		
国 必 要 投 入 の	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		－	イタイタイ病ならびに慢性ヒ素中毒はいずれも特定の地域における健康障害を対象としているが、これらの疾病については国が責任をもって健康調査を実施し、対象者の不安解消、健康管理に努める必要がある。また、イタイタイ病に関する効果的発信については、先人の英知を継承し、この教訓を後世に伝えるために欠かせない事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	本事業は特定の地域の健康障害を対象としているおり、地域のニーズに十分対応できるように受託先を選定している。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		－			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		－			
事 業 性 の 有 効	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	本事業の性質上、定量的な成果目標を設定することはなじまないが、カドミウムや砒素の曝露を受けていると考えられる住民を対象に検診を実施し、健康障害の把握に努めている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		－			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重 複 排 除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		－			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点 検 結 果	<p>これまで、長期間にわたり健康影響調査を実施してきたが、現在でも患者認定は続いており、公害の特殊性も鑑みると国が本事業を継続する意義は十分にある。リスクコミュニケーションを意識した関係資料の収集、整理、効果的な情報発信についても、公害病を二度と起こさないとの強い決意のもとで実施するものであり、先人の英知を引き継ぎ、環境教育の一環としても活用していく等、社会的意義が大きい事業である。</p>					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事 業 内 容 の 改 善	支出実績等を勘案し、予算額を節減すべき					
	所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
縮 減	支出実績等を踏まえ、要求額を縮減した。					
	備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	291	平成23年	229	平成24年	238

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位: 百万円)



A.富山県					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
使用料及び賃借料	健診実施のための検査機器のリース料	4			
需用費	事務用消耗品費、コピー機リース料、印刷代	2			
委託料	委託先：富山市、富山大学附属病院、富山県立中央病院、富山市立富山市民病院 委託内容：健診業務の実施	2			
その他	環境省打合せ・環境省会議出席及び精検結果意見聴取旅費、保健師の保健指導に対する報償費、事務補助員賃金、通信運搬費	1			
計		9	計		0.0
G.富山県					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
委託料	外国語版ホームページの拡充、外国語版ガイドンス映像の制作、次世代へのリスクコミュニケーションに係る学習成果調査等の実施	9.5			
その他	県民とのリスクコミュニケーション事業に係る報償費、旅費、需用費、役務費、使用料	0.7			
計		10.2	計		0
H.(財)富山県健康スポーツ財団					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	次世代へのリスクコミュニケーションに係る学習成果調査等の実施	1.8			
計		1.8	計		0
I.(株)乃村工藝社					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	外国語版ホームページの拡充及び外国語版ガイドンス映像の制作	7.7			
計		7.7	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	富山県	カドミウム汚染地域住民健康調査の実施	9	随意契約	—

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	富山市	一次検診の実施	0.8	—	—

C.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	富山市民病院	精密検査の実施	0.6	—	—
2	富山大学附属病院	精密検査の実施	0.4	—	—
3	富山県立中央病院	精密検査の実施	0.1	—	—

D.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	宮崎県	砒素の健康影響に関する調査の実施口	0.7	随意契約	—

E.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	(株)地域経済研究所	調査データ入力等業務	0.6	—	—

F.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	(株)エム・アイ・エス	前年度のカドミウム汚染地域住民健康調査結果の解析口	0.9	3	53%

G.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	富山県	リスクコミュニケーションを意識した資料継承・情報発信業務口	10.2	随意契約	—

H.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	(財)富山県健康スポーツ財団	次世代へのリスクコミュニケーションに係る学習成果調査等の実施	1.8	—	—

I.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	(株)乃村工藝社	外国語版ホームページの拡充及び外国語版ガイダンス映像の制作	7.7	—	—